



ここ長島町で仕事を起こしたかたを紹介

開業鑑

夢のような時間を

夢を叶えた場所で

道の駅ポテトハウス望陽2階に『ながしまら・ら・ら・珈琲』がオープンしました。こだわりのコーヒーと天然氷を使用したフワフワのかき氷が味わえる、海を望むカフェです。店主の小崎彰子さん(本町)に開業秘話を聞きました。

移住した長島町で仕事を探していた彰子さん。「だったら、長年の夢だったコーヒー店を自分の仕事にしてみたら?」夫の照邦さんの一言で、開業を決意します。



代表・店長 小崎彰子さん
夫・相談役 照邦さん

意を決してからは、コーヒー職人歴20年以上のベテランの下でコーヒーの焙煎などを習うと、照邦さんの「美味しいかき氷が食べたい」という願いも叶えるべく、試行錯誤の末、約1年をかけてメニューを完成させます。

休憩所のスペースだったポテトハウス2階を活用。多くのかたの協力を得ながら10カ月の準備期間を経て、8月5日にオープンとなりました。

一人でも気軽に来店できる落ち着いた場所を目指した店内は、内装デザイナーの熱心な提案で実現。壁色は大のお気に入りです。



一日限定30食のかき氷

ながしまら・ら・ら・珈琲
NAGASHIMA LALALA COFFEE

開業：令和3年8月5日
住所：指江1576-1
道の駅ポテトハウス望陽 2階
営業：午前11時～午後4時
定休日：不定休
TEL：070-8946-3518



「一人に恵まれて開業できた」と彰子さんは振り返ります。「町内外たくさんのお客さんに来てもらいたい」と、さらなる夢をふくらませながら、今日もコーヒーとかき氷を作ります。

編集後記

県内での新型コロナウイルス感染症が広がっていて、先の見えない自粛期間が続いています。そんな中でも旅行気分を味わうことができる話題の「オンライン旅行」。なんと世界一周が格安で体験できてしまうそうです。パスポートが要らず、気軽に楽しめる。ステイホームに一役買いそうです。



総務課秘書広報係 脇田圭祐

『なぜ選ぶたびに後悔するのか』という本を読みました。最高でなければならぬ「マキシマイザー(最大化人間)」と、まずまずを良しとする「サティスファイサー(満足人間)」。自分で事態を変えられない無気力感「学習性無力感」など、選択を強いられる日々



地域おこし協力隊 江副佑輔